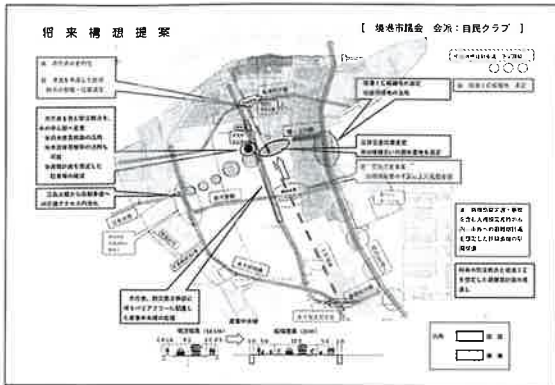


8の字ルートに接する市道の整備を

市長

渡余子停車場線のバイパス整備を構想路線に



境港市都市計画道路の将来構想案
令和3年8月会派「自民クラブ」作成

【荒井】「中海・宍道湖8の字ルート推進会議」では、実現に向けて要望活動を推進している。本市が重点的に取り組んでいる「米子・境港間の高規格道路」の完成見通しについてうかがう。

【市長】本年度の国交省中国整備局の予算概要に「地域や交通の課題の整理を関係自治体と連携して実施していく」と明記された。現段階では、時期について答えることはできない。

【市長】8の字ルートに接続する必要な道路は、令和4年「境港市都市計画マスタープラン」において「米子・境港間の高規格道路」とともに、交通ネットワークの助骨道路として「県道渡余子停車場線のバイパス整備」を構想路線として位置付けた。

図書館の利用者増にともなう課題は

教育長

業務量増に、職員増員などで対応した



境港市民図書館入口付近の様子



会派 自由未来
伊藤 康弘 議員

【伊藤】市民図書館リニューアル以降、旧市民図書館と比較

して1日あたりの入館者数は約3倍となっている。図書館入館者数の増加により、課題が考えられるが、今後の図書館運営は。

令和6年度は、図書館司書を現体制から1名増員し、担当課の生涯学習課も図書館業務を補助し、図書館運営の充実をはかっていきたい。

【伊藤】館長以外で責任者の配置は今後検討するのかが。

【総務部長】今は考えてはいない。しかし、今後、責任者しか対応ができない事案が増加し、図書館サービスなどが低下してきた場合は検討していく。